

## 平田まみ 後援会広報vol.4

この広報をお手にとって頂きありがとうございます。見える議員活動を目指し、本会議後に合わせた発行を予定し、出来る範囲の世帯に徒歩で配布致しております。議会日よりでは答弁を中心に記述しておりますので、質問の趣旨を中心に記載しております。

## 9月議会 一般質問

\*地場産業について

後継者不足と産業フェスティバルについて、市当局のお考えをお伺いしました。小野市の地場産業であるそろばんと播州刃物は、経済産業省が助成するJAPANプロデュース支援事業である「MORE THANプロジェクト」に国内で厳選された13プロジェクトの内、“播州そろばん”と“播州刃物”ダブルでエントリーされ、海外への販路拡大を目指し世界に挑んでいます。そろばんでは昨年度の緊急雇用創出事業により2名の方が弟子入りされました。しかし1年間のみの事業であった為、独立後のサポートが課題になっています。刃物に関しては、平均年齢が70代以上の職人さんしかおらず、今にも蠟燭の火が消えつつある状態でしたが、つい先日、会社員を辞め県外から刃物職人になりたいと小野市に転入された方、同じく海外からも検討されていらっしゃる方がいます。お二人共市外からの為に住居の問題や、技術継承にあたり職人の生産力が下がり金銭面での問題も後継者を受け入れられない課題に繋がっています。産業フェスティバルでも「商品が安く購入できる」といった印象が少なからずあり、商品に付加価値がつくような取り組みについての考えをお伺いしました。

\*市民との協働によるまちづくりについて

小野市では、地域のきずなづくり支援事業や生き生き未来塾介護予防サポーター養成講座、地域の公民館やコミセン、エクラ等を利用し、市民との協働によるまちづくりが活発に行われています。しかし高齢者・女性・子育て世代など対象を括る事業が多く、対象から外れ、参画したくても出来ない場合もあるように感じます。例えば介護予防サポーター養成講座では、各地域で月1回ほどの介護予防を普及するボランティアを養成する講座ですが、“活動を通し自身も認知症の予防をしよう”といった趣旨があります。しかし認知症予防に限らずこの事業を通し、地域のコミュニケーションを更に深めることも可能ではないかと感じています。募集の際の対象者は69歳以下でしたが、誰でも講座を受講できるよう託児を取り入れるなど、どのような事業においても市民が団体に所属せずとも行政に参画できる体制を整えることで、地域力や防災力がより身についていくのではないかと考えています。

\*ICT政策について

今秋にはマイナンバー制度も始まり、ますますICTの活用が見込まれます。情報漏洩やシステム障害が心配される中であってもこれからの未来では欠かすことのできないICTを小野市はどのように活かしていくのかお伺いしました。今回具体的には、市民対象アンケートや職員採用応募のWEB化、平成24年度より市内4箇所で開催しているWiFiフリースポットの今後展望について、ご説明頂きました。

**各項目の市当局の答弁は、小野市議会HP議事録もしくは、各戸配布の議会日よりをご覧ください。**

日々の活動を、インターネット上で報告しています。

HP <http://www.hiratamami.com>  
Facebook <http://facebook.com/mami.kamon>  
Instagram <http://instagram.com/hiratamaaami>  
Twitter <http://twitter.com/kamonmami0128>

\*小野市、そして未来について語り合いませんか？\*  
～ランチやお茶をしながらの意見交換会～

- ・平日10:00～16:00の間で1時間もしくは2時間
- ・小野市の議会事務局談話室や小野市内の喫茶店で
- ・ご自宅近くの場所をご指定ください
- ・ご家族、ご友人などもよければご一緒に！
- ・ご自宅の中はご遠慮致します
- ・立ち話でもよろしければ玄関の外でお話しましょう
- ・飲食の際は、別会計でお願い致します

インターネット上で私の日程調整可能な時間帯のカレンダーを公開していますので、そちらで日程をご覧ください。「平田まみ 閲覧カレンダー」と検索🔍

[supporters@hiratamami.com](mailto:supporters@hiratamami.com)  
0794-63-8811（通知設定で必ずおかけください）

上記メールかお電話にてご連絡お願い致します。

\*市役所5階にお越しになられたことはありますか？\*  
議会事務局や議員控室、議場がある市役所5階にぜひ一度お越しください。

事前にご連絡頂ければ、ご案内致します。

